

# 水谷庵 寶清寺

ことになり、業者と相談を始めました。実際の工事は今年行うこととなります。この度土砂崩れがあった箇所は、師父住職が運化し、住職に就任してより毎年、境内及び建物の整備を行ってまいりましたが、

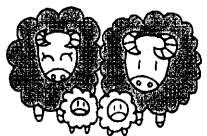
## 未年を迎えて

お正月には、「ご先祖の墓参りをして、一年の幸福を祈りましょう。」

昔は「一月」の事を「睦月」と呼んでいました。これには、「親族が集まり仲良くする睦び月」とする説、一年の始め「もとつ月」が略されたという説、更に、万物が萌え出する「萌月」からなまった、稲の実を初めて水に浸す月、即ち、「実月」とする説などがあります。お正月は昔、お盆と並ぶ先祖の霊を迎える日でした。平安時代にはお正月にも精霊をお迎えする魂祭りの行事が営まれていたようです。「魂祭る年の終わりになりけり、今日にや又もあわむとすらむ」と、当時の歌人の歌があります。お盆には施餓鬼会という行事があり、お正月にはお年玉という習慣があります。お年玉の「トシタマ」とは年の魂のことです。年の暮れから正月にかけて行われる御魂祭にまつるモチを箕に入れミタマとします。タマは祖霊を意味しています。お年玉も、本来の意味は先祖供養にあったわけですが、お正月にもご先祖の墓参りを。

## 花台一對

平成十四年十一月二十六日に、ご主人町田善七様を亡くされた、奥様町田信子様から、ご主人浄忠院温純日善居士の菩提の為と仰うことで、本堂に、法事の時に生花をいけた花瓶を乗せる花台一對を奉納戴きました。



## ① 坂道補強及び手すり工事

休憩所脇から一・二・六区の下段墓地に下りる為の坂道のひび割れが目立ち、将来崩れる危険もあり、又、お年寄りの方々から、手すりがあるとお参りし易いので取り付けて欲しいとの要望もありましたので、昨年の秋に工事をいたしました。坂道の途中に、車の為の反射鏡も設置致しましたので、安心してお参りが出来るものと思います。

## ② 土砂崩れした

南側竹藪付近の土留め工事  
昨年、秋の大雨で境内南斜面の竹藪付近の崩れが崩れ、放置しておく、更に、大きく崩れる心配が出て来ました。そこで、至急、土留め工事を行う

## 「羊」と「仏教」

てられ、仏教の関わりでは、羊は千支では十二支の八番目、「未」の文字があらわれ、仏教の関わりでは、未は兼師十二神将の一つに配されています。羊は推古天皇七（五九九）に百濟から駱駝などと一緒に羊二頭が貢ぎ物として贈られたとの記録があります。日本で羊の飼育が行われるようになったのは、日本人の服装が着物から洋服に変わるなど西欧化にともなう、羊毛の自給が急務となってきた明治になってからのことです。中国では角のある動物は霊性があるとされ、尊重されていたとされていますが、日本では、十二支以外の信仰がなかったため、羊の単独の信仰は少ないが、羊に関する情報は古来より豊富であったようで、ことわざは多様です。「羊の歩み」（人の命が一日一日死に近づいている様子のたとえ）、ということわざは、「源氏物語」の浮舟の巻や、「栄華物語」巻八等に出ています。また、「涅槃経」の「壽命ヲ親ズレバ、牛羊ヲ牽イテ屠所ニ詣ルカゴトシ、」をふまえています。「偏」や「旁」に「羊」がつく「漢字」は、更に、多様です。諸橋徹次博士の「大漢和辞典」をみると、「羊」がつく漢字は、一八八もあり、羊が使われた漢字は「祥」（めでたいことを意味しています）のように、良い意味や肯定的意味で使われるものが多いようです。

## ③ 「水谷庵」パンフレット完成

前号「たちばな新聞」で紹介した「水谷庵」のパンフレットが完成致しました。同封致しましたので、参考にされ、ご法事や家庭的齋場としてご利用下さい。お檀家の方々以外、ご近所の方や他の宗派の方もご利用になれますのでご紹介下さい。

## ④ 立教開宗七五〇年記念「大日蓮展」開催

平成十五年一月十五日より二月二十三日まで、東京国立博物館で、立教開宗七五〇年記念「大日蓮展」が開催されます。チケット千円をご希望の方は当山管理事務所まで、お電話でお申し出下さい。

## 「くらしの中の仏教語」

（楽しみながら 仏教を学ぶ）  
現代の日本人にとって、「娯楽」はイコール「遊び」だろうと思います。現代の日本はテレビ、パチンコ、カラオケ等、娯楽にあふれています。  
この「娯楽」という言葉も、実は、仏教からきた言葉です。仏教では、「娯楽」を精神の安定や楽しさだとしています。つまり、読経や清掃のことを、「娯楽」と呼んでいたのです。  
昔のインドの修行僧は音楽や演劇などを禁止されてきました。ただ、お経に節をつけて唱えることは許されてきました。日本の伝統芸能である歌舞伎も、仏教と深い関係があります。とりわけ、能楽などは、仏教をテーマにしたものが多くあります。つまり、「娯楽」とは仏教の教えを楽しみながら学ぶ、というのが始まりなのです。

## 「報告しお願ひ」

過日募集致しました、下記の行事  
①、東京西部宗務所立教開宗七百五十年慶讃総本山「身延山久遠寺」、日帰り参拝旅行、十月二十九日（火）  
②、秋川仏教会主催、魅惑の鳥佐渡の旅  
十月二十八日〜三十日二泊三日  
は、厳肅な中にも楽しく終えることが出来ました。参加された方々には良き思い出が出来たことと思います。  
本年度もいろいろな企画があります。募集の時期が参りましたらお知らせ致します。その折りは、ご検討の上、積極的なご参加をお願い致します。

